

あなたの人生、これからどう生きていきますか？

——こどもたちの幸せと今後を考えて——

第1報 性教育に対する教員の意識調査の考察

How Do You Survive In Your Life ?

Report 1 : Study on the Changes of Teachers' Recognition
about Sexual Education

小林 壽子・松上さつ子¹⁾・中村 友美²⁾
藤崎 みき³⁾・荒木 清子⁴⁾

Hisako KOBAYASHI, Satsuko MATSUUE¹⁾, Yumi NAKAMURA²⁾
Miki FUZISAKI³⁾, Seiko ARAKI⁴⁾

It has passed more than fifty years since Ministry of Education, decided to adopt "Sex Education" as a curriculum in the public schools system. Since then, there have occurred formidable changes in the society as well as school system in this country. In this study we surveyed the changes of the attitudes and behaviors toward their Sex among the younger generations through the surveys of teachers' attitudes in their Sex Education Class at primary, junior and high schools. We surveyed in 1995 and 1999, and the numbers of samples were one hundred teachers in 1995 and 1999, respectively, as well as the same in primary, junior and high school, respectively.

Results are as follows;

- 1) Compared with the differences of the teachers' attitudes for Sex Education between 1995 and 1999, the teachers' attitudes for the education have been greatly changed.
- 2) The right knowledge about "Sex" for the younger generations such as primary and junior levels is indispensable through Sex Education in the schools.
- 3) The teachers in charge of Sex Education should build the appropriate circumstances and opportunities where the younger generation in trouble comes and gets the right informations through mass media such as TV programs, magazines, books, etc.

1) 亀山市立亀山南小学校

2) 三重県立みえ夢学園高等学校

3) 三重県養護教諭教育研究会会員

4) セントヨゼフ女子学園

- 4) We have to have “Networks” between the schools and parents for taking care of the younger generations in trouble in their Sex problems.

1. はじめに

我が国において性教育を公的立場から取り上げた最初は、昭和22年1月6日に文部省社会教育局長から都道府県に対して「純潔教育の実施について」を通達したものであった。

その時から50年を経た日本の現実には、想像もつかないほど至る所での変貌ぶりである。

高齢化、少子化が急速に進み、個人の価値観が多様な生き方を認め合う社会と変わってきた面は評価できるが、公衆の面前であっても若者の行動には、周囲への配慮を欠く行為を目にすることが多い。真に若者たちが自分自身の人間としての生き方を考えた結果の性行動であるのか気にかかるところである。

そこで、私たちは今回、性の教育について日ごろ教育現場で児童、生徒の教育にかかわっている教員自身の意識についての調査を行なってみることにした。このことから得られた調査結果を基に、指導体制を整えていこうと考える次第である。

2. 調査方法

①対象

平成7年	小学校教員100名
平成11年4月～5月	小学校教員100名
平成7年	中学校教員89名
平成11年4月～5月	中学校教員92名
平成7年	高等学校教員112名
平成11年4月～5月	高等学校教員80名

②方法

三重県内の小学校、中学校、高等学校の教員にアンケート調査を行なった。すべて質問形式による記入であり、回答方法は幾つかの選択肢より1つを選ぶが、1項目のみ1、2の順で選択、その他は自由記述として回答を得た。

3. 調査結果

質問項目の(1)「性教育とはどんな教育だとお考えですか」に対し、小、中、高の対象者全てで「男女の性の特徴を理解させ、人間関係の在り方を指導する」が最も多かった。(表参照、以下同じ)

(2)「学校で性教育を行なう場合、主に誰が指導すべきだと思いますか」は小、中では学級担任、高では保健体育科教諭と回答した。

(3)「中高生の異性との人間関係について、この状態までは良いと思うか」については「好意を持

- ち愛情を感じる程度」が一番多く、次いで「恋愛状態ただしプラトニックなもの」が多かった。
- (4)「今、性の自由化が進んでいますが、そのことについてどう思いますか」を1, 2の順で回答を得た結果は、1に「性の教育とともにもっと愛とは何かを考えさせるべき」が、約半数あり、2に「性風俗営業や性の情報の行き過ぎをもっと規制すべき」が続いた。
 - (5)「援助交際についてはどうお考えですか」については、平成7年にはなかった項目です。今年初めてアンケートをとってみました。結果は、小, 中, 高全てで「絶対良くない」でした。
 - (6)「性交についてはどうお考えですか」については、平成7年では小, 中, 高ともに「結婚, 婚約をするまでしないほうがいい」でしたが、平成11年では「交際が進み愛情が深まればしても良い」と回答した人が半数を越えた。
 - (7)「中高生が性交を持つことについて、どうお考えですか」については、「人生観に関する指導が不十分だからであり、家庭教育を含めて教育に責任があるように思う」の回答が最も多く、次いで「絶対良くない」であった。
 - (8)「中高生への避妊指導についてどうお考えですか」については「指導するのもしやむをえない」の回答が多く、高等学校の平成11年では「積極的に指導すべき」が55%となっている。
 - (9)「人工妊娠中絶に対してはどのようにお考えですか」については、小学校では平成7年に「医学的理由がない限り生むべきである」の回答が多数であったのが、平成11年では、「社会的, 経済的理由があれば中絶しても良い」の回答が多かった。中, 高では全てで「社会的, 経済的理由があれば中絶しても良い」の回答が多かった。
 - (10)「離婚観についてどのようにお考えですか」については、「事情によっては離婚するのは止むを得ない」がどの対象者も多く、平均で約67%あった。
 - (11)「性教育の必要な理由」については、「男女の相互理解と尊重のため」の回答が多く、平均50.2%であった。
 - (12)「性教育実施のための必要条件は」については、小, 中の平成7年は「教育課程に位置付ける」の回答が多かったが、平成11年では「家庭, 地域との協力」の回答が多かった。高は、「教材, 資料に整備充実」に多く回答した。
 - (13)「性教育を実施している場合その理由は」については、「自ら性教育の必要性を感じているから」の回答が多かった。ここでは、小で71%, 中で31.4%, 高で51.3%の対象者が性教育に取り組んでいるのがわかった。
 - (14)「性教育未実施の場合, その理由は」については、「指導の機会がなかったから」と「指導内容, 方法が不明確だから」に多く回答した。
 - (15)「これからの性教育の実践をどうお考えですか」については、「ぜひ取り組んでみたい」が、平成11年小で78%, 中で56.5%であった。高は、平成7年では、「積極的に取り組むつもりはない」の回答が42%であったのが、平成11年では「ぜひ取り組んでみたい」が38.8%であった。
 - (16)「大学教育(教員養成)における性教育講座の履修の必要性」については、小, 中, 高で平均51.7%が「必要である」と答えた。

＜性教育に対する教職員の意識調査の集計結果＞

※以下の数字は%とする。また、網掛けは各質問に対して最も多い割合の数値である。

現在の在勤校種の立場で、以下の番号に丸印と（ ）の中 にはご記入ください。		小学校		中学校		高等学校	
		H 7	H11	H 7	H11	H 7	H11
1) 性別	1. 男性	45.0	24.0	68.5	62.0	73.2	68.8
	2. 女性	55.0	76.0	31.5	38.0	26.8	36.3
2) 教職経験	1. 1～3年	14.0	8.0	11.2	12.0	8.9	8.8
	2. 4～9年	12.0	25.0	23.6	13.0	21.4	10.0
	3. 10～14年	25.0	19.0	23.6	32.6	7.1	18.8
	4. 15年以上	49.0	48.0	40.5	42.4	58.9	62.5
3) 結婚について	1. 既婚	78.0	73.0	75.3	77.2	75.0	80.0
	2. 未婚	22.0	27.0	24.7	22.8	25.0	18.0
4) 既婚の場合、 こどもの有無	1. 有	74.0	69.0	67.4	60.9	76.8	73.8
	2. 無	26.0	31.0	32.6	39.1	23.2	21.3

(1) 性教育はどんな教育だとお考えですか？ 1つ選んで番号に丸印を付けてください。	小学校		中学校		高等学校	
	H 7	H11	H 7	H11	H 7	H11
1. 性解放の風潮で乱れようとする性を正しく指導し、純潔を守らせるよう指導する。	2.0	1.0	1.1	2.2	4.5	6.3
2. 男女の違いを指導して、性的な非行を防止するため指導する。	1.0	2.0	7.9	8.7	7.1	25.0
3. 男女の性の特徴を理解させ、人間関係の在り方を指導する。	92.0	90.0	84.3	78.3	79.5	65.0
4. 生理的な知識を与え将来困ることのないよう指導する。	3.0	4.0	4.5	5.4	6.3	6.3
5. わからない	1.0		2.2	2.2	0.9	1.3
6. その他（ ）	2.0	3.0		3.2	1.8	

(2) 学校で性教育を行なう場合主に誰が指導すべきだと思いますか？	小学校		中学校		高等学校	
	H 7	H11	H 7	H11	H 7	H11
1. 学級担任	77.0	85.0	53.9	46.7	16.1	17.5
2. 保健主事		2.0	4.5	10.9	6.3	3.8
3. 保健体育科教諭		1.0	15.7	33.7	38.4	43.8
4. 理科教諭	1.0		1.1	4.3		1.3
5. 家庭科教諭			3.4	3.3	2.7	10.0
6. 社会科教諭				1.1		
7. 同性の教諭	3.0		4.5	2.2	4.5	2.5
8. 養護教諭	14.0	24.0	12.4	23.9	5.4	22.5
9. 校医	1.0		1.1	7.6	1.8	2.5
10. 外来講師	1.0	3.0		5.4	12.5	15.0
11. その他 ()	3.0	2.0	3.4	17.4	11.7	15.0

(3) 中高生の異性との人間関係についてどう思いますか？この状態までと思われる番号を1つ選んで丸印を付けて下さい。	小学校		中学校		高等学校	
	H 7	H11	H 7	H11	H 7	H11
1. 友情を感じる程度	14.0	8.0	12.4	4.3	9.8	7.5
2. 好意を持ち愛情を感じる程度	36.0	27.0	47.2	33.7	33.0	25.0
3. 恋愛状態ただしプラトニックなもの	28.0	31.0	24.7	23.9	30.4	40.0
4. 3以上に進んだ深い関係	2.0	7.0	4.5	4.4	4.5	3.8
5. 程度には関係なく自由に付き合えば良い	11.0	8.0	3.4	18.5	3.6	16.3
6. わからない	7.0	17.0	12.4	11.9	8.9	10.0

(4) いま性の自由化が進んでいますが、そのことについてどう思いますか？次の項目から2つ選んで、強く感じるほうから1,2.の順で()の中に記入してください。	小学校		中学校		高等学校		
	H 7	H11	H 7	H11	H 7	H11	
1 番 目 の 回 答	1. ()このまま自由化が進んでとくに関係ない		3.0			1.8	3.8
	2. ()人間の動物化に等しい自由化の中で、青少年に対してなんらかの規範を強めるべきである。	6.0	6.0	12.4	16.3	9.8	20.0
	3. ()性の教育とともにもっと愛とはなにかを考えさせるべきである。	66.0	58.0	56.2	48.9	57.1	42.5
	4. ()性風俗営業や性の情報の行き過ぎをもっと規制すべきである。	17.0	20.0	15.7	15.2	11.7	15.0
	5. ()自由化は止まらないと思う。各自の自律的なモラルでの行動を期待するしかない。	10.0	9.0	13.5	9.8	13.4	11.3
	6. ()その他 ()		2.0	2.2	9.8	3.6	1.3

2 番 目 の 回 答	1. ()このまま自由化が進んでとくに関係ない。	3.0	1.0	2.2	3.3	2.7	1.3
	2. ()人間の動物化に等しい自由化の中で、青少年に対してなんらかの規範を強めるべきである。	4.0	11.0	10.1	14.1	12.5	20.0
	3. ()性の教育とともにもっと愛とはなにかを考えさせるべきである。	22.0	15.0	24.7	14.1	17.0	15.0
	4. ()性風俗営業や性の情報の行き過ぎをもっと規制すべきである。	30.0	34.0	33.7	29.3	30.4	26.3
	5. ()自由化は止まらないと思う。各自の自律的なモラルでの行動を期待するしかない。	30.0	24.0	22.5	20.7	21.4	22.5
	6. ()その他()	1.0	3.0		5.4	1.8	2.5

(5) 援助交際についてはどうお考えですか？ 1つ選んで番号に丸印を付けて下さい。	小学校		中学校		高等学校	
	H 7	H11	H 7	H11	H 7	H11
1. 絶対良くない。		38.0		43.5		45.0
2. 個人の自由なので、本人の意志に任せる。		2.0		1.1		2.5
3. 現代社会の性の自由化がそうさせるのだから、まず社会から正すべきである。		20.0		15.2		17.5
4. 人生観に関する指導が不十分であり、家庭教育を含めて教育に責任があるように思う。		25.0		33.7		32.5
5. わからない		5.0		4.3		3.8
6. その他()		1.0		2.2		1.3

(6) 性交についてはどうお考えですか？ 1つ選んで番号に丸印をつけてください。	小学校		中学校		高等学校	
	H 7	H11	H 7	H11	H 7	H11
1. 結婚、婚約をするまでしないほうが良い	42.0	24.0	44.9	16.3	50.0	25.0
2. 交際が進み愛情が深まればしても良い	42.0	60.0	30.3	57.6	29.5	57.5
3. 機会があればしても良い		3.0		2.2	0.9	
4. 他人に迷惑をかけなければしても良い	3.0	3.0	9.0	5.4	5.4	6.3
5. 避妊していればしても良い		2.0	2.2			
6. あまり考えたことがない	12.0	5.0	12.4	14.1	8.9	7.5

(7) 中高生が性交を持つことについて、どうお考えですか？ 1つ選んで番号に丸印を付けて下さい。	小学校		中学校		高等学校	
	H 7	H11	H 7	H11	H 7	H11
1. 絶対良くない。	30.0	20.0	31.5	27.2	22.3	15.0
2. いつの時代にもそのような人はいるもので別に気にしない。	3.0	4.0	3.4	5.4	8.0	21.3
3. 現代社会の性の自由化がそうさせるのだから、まず社会から正すべきである。	15.0	20.0	7.9	14.1	14.3	12.5
4. 彼らがそれで良いというなら、他からとやかく言う必要はない。	2.0	3.0	1.1		1.8	3.8
5. 彼らは価値観が違うのだから仕方がない。			1.1		0.9	3.8
6. 人生観に関する指導が不十分だからであり、家庭教育を含めて教育に責任があるように思う。	45.0	48.0	44.9	32.6	37.5	40.0
7. わからない	2.0	2.0	9.0	9.8	9.8	2.5
8. その他()	3.0	3.0	1.1	10.9	4.5	13.8

(8) 中高生への避妊指導についてどのようにお考えですか、 1つ選んで番号に丸印を付けて下さい。	小学校		中学校		高等学校	
	H 7	H11	H 7	H11	H 7	H11
1. 積極的に指導すべきである	44.8	47.0	34.8	41.3	36.7	55.0
2. 指導するのもしやむをえない	47.0	49.0	52.8	42.4	55.4	41.3
3. 指導すべきでない	2.0	2.0	4.5	3.3	1.8	2.5
4. わからない	3.0		7.9	8.7	3.6	1.3

(9) 人工妊娠中絶に対してはどのようにお考えですか、1 つ選んで番号に丸印を付けて下さい。	小学校		中学校		高等学校	
	H 7	H11	H 7	H11	H 7	H11
1. 医学的理由がない限り産むべきである	40.0	27.0	32.6	25.0	28.3	38.8
2. 社会的、経済的理由があれば中絶しても良い	37.0	45.0	51.7	40.2	48.1	40.0
3. 計画外の妊娠であれば中絶しても良い	7.0	5.0	4.5	9.8	9.4	3.8
4. わからない	13.0	19.0	11.2	20.7	14.1	16.3

(10) 離婚観についてどのようにお考えですか、1つ選んで 番号に丸印を付けて下さい。	小学校		中学校		高等学校	
	H 7	H11	H 7	H11	H 7	H11
1. 離婚は絶対しないほうが良い	11.0	4.0	10.1	4.3	13.4	10.0
2. こどものことを考えて離婚しないほうが良い	19.0	14.0	30.4	9.8	16.1	17.5
3. 事情によっては離婚するのは止むを得ない	63.0	77.0	53.9	79.4	58.9	68.8
4. わからない	5.0	3.0	5.6	6.5	9.8	3.8

(11) 性教育の必要な理由について、1つ選んで番号に丸印 を付けて下さい。	小学校		中学校		高等学校	
	H 7	H11	H 7	H11	H 7	H11
1. 男女の相互理解と尊重の為	51.0	47.0	55.1	47.8	55.4	45.0
2. 氾濫する性情報の中で正しい性知識を与えるため	12.0	12.0	18.0	17.4	25.0	35.0
3. 生命の尊さを教えるため	37.0	37.0	25.8	33.7	16.1	21.3
4. その他 ()		4.0	1.1	1.1	0.9	

(12) 性教育実施の為の必要条件について、どのようにお考 えですか？1つ選んで番号に○印を付けて下さい。	小学校		中学校		高等学校	
	H 7	H11	H 7	H11	H 7	H11
1. 教材・資料の整備充実	16.0	17.0	22.5	21.7	23.2	28.8
2. 養護教諭との協力	12.0	13.0	9.0	10.9	6.3	8.8
3. 教育課程に位置付ける	30.0	20.0	24.7	14.1	9.8	12.5
4. 性教育の研修会を持つ	7.0	13.0	9.0	16.3	21.4	12.5
5. 家庭、地域との協力	27.0	25.0	19.1	21.7	2.7	25.0
6. 国による指導基準の提示	2.0	5.0	6.7	2.2	8.0	1.3
7. 性教育の研究組織の設置	5.0	3.0	6.7	6.5	1.8	21.3
8. その他 ()	1.0	4.0	1.1	7.6	7.1	1.3

(13) 性教育を実施している場合その理由について1つ選んで番号に丸印を付けて下さい。	小学校		中学校		高等学校	
	H 7	H11	H 7	H11	H 7	H11
1. 自ら性教育の必要性を感じているから	46.0	59.0	24.7	21.7	32.1	32.5
2. 性教育の指導計画があるから	15.0	13.0	4.5	3.3	5.4	8.8
3. 家庭から要望があるから		1.0				
4. その他 ()	5.0	3.0		7.6		11.3
5. 無回答 (→実施していない場合!?)	34.0	24.0	70.8	67.4	62.5	47.5

(14) 性教育未実施の場合、その理由について1つ選んで番号に丸印を付けて下さい。	小学校		中学校		高等学校	
	H 7	H11	H 7	H11	H 7	H11
1. 指導の機会がなかったから	8.0	7.0	16.9	15.2	12.5	16.2
2. 必要を感じなかったから	3.0		3.4	2.2	3.6	
3. 指導内容、方法が不明確だから	7.0	4.0	22.5	17.4	17.0	13.8
4. 教育課程に位置付けられていないから	5.0	2.0	7.9	4.3	2.7	1.2
5. 時間的余裕がないから	5.0	3.0	7.9	15.2	8.0	6.3
6. 指導の自信がないから	4.0	1.0	10.1	7.6	13.4	7.5
7. その他 ()	2.0	2.0	1.1	5.4	2.7	6.3
8. 無回答 (→実施している場合!?)	66.0	76.0	30.2	32.6	40.1	48.8

(15) これからの性教育の実践をどうお考えですか、1つ選んで番号に丸印を付けて下さい。	小学校		中学校		高等学校	
	H 7	H11	H 7	H11	H 7	H11
1. ぜひ取り組んでみたい	70.0	78.0	49.4	56.5	11.7	38.8
2. 積極的に取り組むつもりはない	14.0	8.0	31.5	17.4	42.0	36.3
3. やらうとは思わない	2.0		2.2	2.2	3.6	5.0
4. その他 ()	9.0	8.0	14.6	20.7	12.5	11.3

(16) 大学教育(教員養成)における性教育講座の履修の必要性についてどうお考えですか、1つ選んで番号に丸印を付けて下さい。	小学校		中学校		高等学校	
	H 7	H11	H 7	H11	H 7	H11
1. 絶対に必要である	29.0	42.0	25.8	34.8	25.0	28.8
2. 必要である	62.0	50.0	59.6	52.2	56.3	50.0
3. あまり必要ではない	5.0	3.0	7.9	2.2	7.1	3.8
4. どちらともいえない	4.0	5.0	6.7	8.7	6.3	15.0

(17) 性教育に関し、ご意見やお考えがありましたら何でも自由にご記入ください。

<p>小学校</p>	<p>H7 ①</p>	<p>性教育は幼児期（幼稚園頃）から計画的・系統的に教えるべきだと思う。学校以外に家庭でも小さい頃から機会をとらえて指導すべきだ。また、行政面からも性風俗や性情報に対して指導して欲しい。</p> <p>② 誰にでも性教育が行なえるよう性教育に関する研修の場が必要であろう。それにはもっと教材等が準備される必要があると思う。今の子供たちが将来豊かな人生を送っていくためにも性教育は非常に大切である。</p> <p>③ 家庭の考え方（とくに父母間または祖父母との間で）が様々であると、学校としての取り組みが困難である。そのあたりを懇談会や通信等で理解してもらってから行なわないと逆効果（というより反感）もあるだろう。</p>
	<p>H11 ①</p>	<p>性器教育ではなく心の問題も含めて性教育に取り組むことが大切である。</p> <p>② 援助交際等あまりにも無抵抗に売春行為に走っているように思う。援助交際という言葉ではなくはっきり売春と知らせた方がいい。マスコミももう少しきちんとした情報を提供してほしい。姿勢を正してほしい。家庭教育も含め性教育の実施が大切である。</p> <p>③ 小学校中学年～高学年にかけての性教育は大切だと考える。第二次成長の年齢であり子どもたちが自分の体の変化を気にしだす頃だから必ず指導するようにしている。</p>
<p>中学校</p>	<p>H7 ①</p>	<p>生命の尊厳という観点からも、また誤った性の情報が氾濫する社会にあって偏見や差別につながる誤った認識を持たせないためにも子ども達にその倫理観も含めて性教育を実施していく必要があると思います。そのための時間や研修の機会がまだありません。</p> <p>② 小学校から中学校にかけて系統的な指導がぜひ必要である。国の基準や指導書などは逆に形式的な指導にとどまってしまうので賛成できない。それよりも各中学校と校区小学校の養護教諭，保健科教諭によって打ち合わせを系統指導に役立てるべきではないか、と思う今日この頃です。</p>

	③	学校での性教育の必要性以上に家庭におけるその指導がとくに大切ではないか。父親としてまた母親としての子どもへの指導効果を期待したい。
H11	①	昔は、家や地域などまわりの大人たちが自然に子ども達に対してやっていた。ごく当たり前に、命の大切さや性のモラルを教えていたが、今はそんな社会になっていない。だから、やはりどこかできちんと子ども達に教えていかないと興味本位の情報だけあふれて子ども達は正しいことを知らないままその中につかってしまうことになるような気がします。
	②	性教育は「生きる」ことはなんであるかの意味を学ぶ教育である。単なる性差の問題や人体のメカニズムを学ぶものではない。現在は性教育と性器教育を混同して行なっているところがある。そのあたり実践者の意識が問われる。各地で研修会が開催されているが単に参加して知識を持ち帰り子ども達に伝達するようなものでは意味はない。目の前の子ども達が何を必要としていて何が足りないかをふまえた上で実践にあたるべきである。
	③	人権教育以上に大切なことである。中高生の実態（一部の者であるが）はひどいものである。教員あるいは関係するものはその実態を知るべきである。多様化、自由化について考えることとすばらしさの裏には恐さがあることを学ばせたい。理想だけでは進まない。一刻も早く現場にいる教員が口を開くことになるだろう。
高等学校	H 7	① 性教育をsex の問題に限って取り上げるのではなくgenderの問題とからめて取り上げてゆかなければ性の教育には限界が生じるであろう。
	②	性教育に関するアンケートも何度となくやってきましたが、20数年前と何も変わっていない感があります。もう25年前東京で、性教育公開授業で保健の授業の中で避妊器具等実物を生徒に見せていました。今や、性情報の氾濫の中で、学校教育は後手になっていると思います。いま、結婚しない女性、結婚しても生まない女性、結婚はしないけれど生む女性、いろいろな生き方が肯定されつつあるのです。
	③	欧米に比べると日本人はいろんな意味で性教育に対して立ち遅れというか意識的にも戸惑いのようなものがいわゆる青少年よりむしろ大人の側

に強いのではないのでしょうか。社会（学校教育現場だけでなく広い意味での）そのものにおける性教育の位置付けがまず必要な気がするのですが・・・。

- H11 ① さまざまな情報があふれている現代社会の中で、性に関して深く考えず行動している子ども達が多いように思う。規制するばかりでなく自分自身で考える力を付けさせる教育が必要だと思う。知らずに行動して後悔するのではなく自分自身が納得できる生き方を選べるように導いていくことが大切だと感じている。
- ② 「放っておいても人間成長していけば自然と身に付けていくものだ」という考え方がまだあるが、時代遅れと感ずる。性教育の必要性はおおいにある。小さい時から親が振れていくことも大切であろうし学校でもその機会はあるほうが良い。しかし、そのどちらもどうすべきか自信がないのが現状だと思う。過渡期として、スウェーデンのように絵本から幼少時に始め青春時教育としてはやはり映画や専門家の講話をやっていったらどうか。教材ももっともっとたくさんあるべきだ。徐々にではあるが次世代には教える自信がついていくと考える。
- ③ 責任ある大人が、正しく性を理解し正しい知識とさまざまな経験を通して得られた真理をきちんと子ども達に伝え、あとは子ども達の自主性を尊重しながら、いつでも困ったときには相談にのってやれるように暖かく見守る姿勢が必要である。まずは大人が正しく「性」＜①快楽性（消費性）②生産性③連帯性（社会性）＞の総合した概念を知ること。そして、性教育とは「生き方教育」であることを深く認識すること。

4. 考 察

今回の意識調査から考えられることとして、①学校現場における教職員の「性教育」に対する意識の変化、②現代の子ども達をとりまく社会の急激な変化、の2つにわけて考察したい。

①学校現場における教職員の「性教育」に対する意識の変化

性教育の実施は全校種にわたって多くの教員が必要である・積極的に取り組んでいきたいと考えていることがわかった。小学校においては、「生命の尊重」という観点から指導計画をも参照しつつ現場で学級担任が実施している。しかし、中学校や高等学校になると、性情報の

氾濫から性知識や性行動の低年齢化（早熟化）・価値観の多様化などの問題もあり、現行の性教育では遅れを感じている。性的な非行防止の為にも正しい知識を教えた上で自己判断能力に期待したいが、正しい知識といっても現実問題として指導内容が不明確であること（現状に合わない）、指導の機会がない、時間的な余裕がない、指導内容に対しての自信がないなどの理由から積極的にしたくても何から手を付けて実施していったら良いのかわからない、などの現場教員からの悲鳴（叫び）ともとれる現状が伝わってくる結果であった。

また、性教育は全校種にわたって一連した知識（内容）が各児童生徒達に教えられるべきである。しかし現実としては、校種が変わることもあり教員の間にも「性教育を実施すべき教員」が異なり、実施するにも問題が生じることが今回の意識調査でわかった。

②現代の子ども達をとりまく社会の急激な変化

今回の意識調査から、現代の子ども達をとりまく社会の急激な変化を多くの教員が強く感じていることがわかった。性の自由化・援助交際・性交・人工妊娠中絶・避妊指導や離婚観等についての設問がそうである。回答を得た教員の半数は教職経験15年以上であり近年の社会の急激な変化に加え現代の子ども達の価値観（考え方）の多様化にギャップやジレンマを抱き性教育を実施するにも躊躇しているのがうかがわれる。

結果の傾向として、2つに別れた。一つは、学校だけでなく家庭や社会全体をあげての教育のなかで子ども達の自己判断能力に働きかけるべきとの考えが多かった。もう一つは性風俗営業や性情報の氾濫に対して社会そのものの改善（私達大人社会の見直し・大人の自覚の回復・情報化社会の規制等）を求める声が多かった。

時代の流れなのか、中高生の性交についても交際が進み愛情が深まれば良いと考えが増えるなど、むしろそのような社会を容認する傾向にある。中には、性の自由化を「このまま自由が進んで問題がない」と答える教員も少なからずいた。また、価値観の多様化として、人工妊娠中絶や離婚観については賛否両論様々な意見があった。

5. 終わりに

今回の教職員に対する意識調査の結果から、どの校種でも性意識・性行動の低年齢化に危惧する中で性教育を行なっているようである。小学校では生命の尊重に準じた性教育を学級担任自ら行なっているが、中学校・高等学校では思春期であることと現実とのギャップから、性教育を実施するには時間・内容的に困難な状況にあるようである。また、実施すべき教員にも一貫性がみられない。教員でも他者依存の関係で性教育が実施されるべきという考えはどうか？現に困惑したり悩んだりしている子ども（児童生徒）は少なくとも子どもの将来を思えば必要な時に必要な性教育「性に関わる正しい知識」が提供されるべきであろう。幸いにも多くの教員が性教育の必要性を強く感じているので、全教員あげて性教育に対する関心を高め、家庭や地域にも広く呼び掛ける（連携をとる）形で、性教育が実施されるべきであろう。性教育の指

導内容も不明確で自信がない意見もあったが、人とのふれあいを感じあうことも性教育の大事な要素であるので、一人一人が出来るところから積極的に取り組んでいくことが大切であると考える。

近年、我が国においては、国民の性に関する意識や価値観が多様化し、子ども達の家庭環境や児童生徒等を取り巻く社会環境も大きく変化している。一例として、核家族化や少子化の進行、地域社会における子どもの集団行動の減少、進学競争の激化、様々な要因からくる自尊心や主体性・自立性の欠如・人間関係の希薄化等があげられるであろう。その他にも、子ども達等は発達段階に関わらず性情報の氾濫する環境の中で生活せざるをえない状況にある。自分達の身近なところに、性の商品化、マスコミの一般的な性情報、薬物乱用、売買春やその類似行為、性感染症や10歳代の人工妊娠中絶の増加等、多くの性に関する社会問題が生じている。

そうした環境の中で育つ子ども達の心身の発達は性的成熟と社会的成熟にギャップが生じアンバランスとなっている。文部省（H11／3／31発行）の「学校における性教育の考え方すすめ方」によると、東京都幼小中高性教育研究会調査結果がいくつか掲載されており、現に児童生徒等の性の意識や性行動の低年齢化（早熟化）が報告されている。これからは情報化社会であり、子ども達には大量の性情報の中から自分で必要な情報を選択し意志決定を行なうことが求められる。また、自己を見失わず主体的に生きていくことも望まれている。まさに、小さい時から、自ら意思決定や行動選択が出来るような養育環境の中で、自分自身を大切に考え相手をも思いやるやさしい温かな心を育める指導を含んだ性教育がされなければいけないだろう。その為にも子ども自身判断能力が低いので、身近にいる家族・学校（教員）が率先して性教育を実施し、社会全体に働きかけていく必要があるように思われる。

参考文献

- 1) 学校における性教育の考え方、すすめ方 文部省（H11／3／31 発行）
- 2) 改訂性教育指導要領解説書 日本性教育協会編 小学館発行 1984年